

# いじめをなくそう子どもも会議

「一人一人のちがいを認め合い自分も他の人も大切にしよう」、これは、いじめをなくそう子ども会議(第9回)のテーマです。今回は、いじめの問題に向き合う子どもたちの会議での様子を紹介します。

令和3年7月19日(月)、市立小・中学校の代表児童・生徒がオンラインで意見を交わす「いじめをなくそう子ども会議(第9回)」を市役所で公開しました。

今年度のいじめをなくそう子ども会議は、子ども達自身が個々の違いを認識しつつ、様々な人がともに生き生きと生活を送るために必要な多様性の理解や、一人一人がかげがえのない存在であり、互いの良さを認め合うことを通して、いじめを未然に防ぐことを目的とし、全児童・生徒が授業で考えた上で、代表児童・生徒が会議を行いました。

会議では、児童・生徒が今年度から授業等で使用している一人一台端末(タブレット型パソコン)などを活用し、各校でいじめの未然防止に関する授業で学んだことを発表しました。多西小学校の小林さん(6年)は、「言葉は、受け止める側の受け止め方で、すれ違いが起きてしまうということを学んだ。実際に、友達とけんかをし



た時、言い合いになったことがあったが、気持ちを理解し、誤解を解くことができた。」と語っていました。また、五日市中学校の加藤さん(3年)は、「自分にも相手にもそれぞれ違う良いところがある。長所を知ること、自分や相手に興味がわき、思いやりを持つことにつながる。結果として、いじめが少なくなっていくのではないかと、自分を大切にすることの重要性を述べていました。

その後に行われた各グループでの意見交換では、本会議のテーマ「一人一人のちがいを認め合い、自分も他の人も大切にするためにできること」に関して、自分の考えを相手に分かりやすく述べたり、他の人の意見に傾聴することを通して、人と比べずに自分らしくいることや、他の人に寛容な心で接することの大切さについて、改めて考えを深めていました。あきる野市教育委員会は、日頃よりいじめを許さない学校づくりを目指し、児童・生徒に相互理解を促し、多様性を尊重する態度を培っていきます。そして、学校生活全般にわたって予防的な指導の発想に立った人間関係づくりに努め、児童・生徒が発する小さな訴えのサインを見逃すことなく、いじめの未然防止・早期発見に努めてまいります。

## ICTを用いた教育活動 主体的で対話的な深い学びの実現に向けて ~1人1台端末の活用~

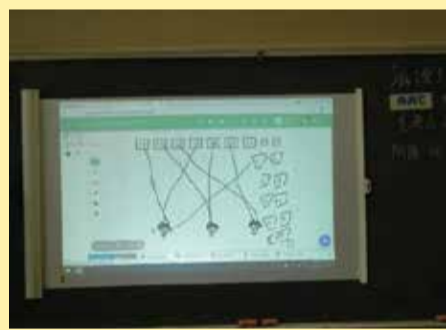
### 小学校3年算数 (3けたのひき算)

タブレット上に、「持ち金」「商品の代金」「残金」の関係が分かる図を示し、複数の考えが表示された画面で関係を確認した上で、答えを求められました。



### 小学校3年算数 (わり算のしかたを考えよう)

72個の物を3人に分ける様子をイメージし、分け方をタブレットに書き込み、みんなで意見を共有しました。学級全員の意見を一人一人が比較・検討し、積極的に話し合いに参加することができました。



### 中学校3年理科 (細胞分裂の観察)

この授業では、生徒がたまねぎの細胞を観察し、その後、タブレットで細胞分裂の仕組みが分かる動画を見て、たまねぎの細胞のつくりや働きについて理解を深めました。



### 中学校3年総合 (修学旅行調べ)

事前に図書資料やインターネットで修学旅行の見学ポイントを調べ、事後、実際に行ってみて分かったことや、考えたことなどをパワーポイントにまとめて班ごとに発表しました。



### 小学校 (オンラインでの学校朝会)

Teamsを活用したWeb会議を開催しました。各教室の児童から別室にいる校長に、画面越しに手を振るなどのコミュニケーションを経験しました。



### 小学校5年音楽 (リコーダーの演奏)

児童が撮影した自身の演奏動画をTeamsで教員に提出しました。児童は、上手に吹ける映像が撮れるまで練習を続けるなど、集中して演奏に取り組むことができました。



市立小・中学校の子どもたち一人一台端末のICT環境が整備され、半年が経ちました。各学校では現在、ICT機器を活用した授業に取り組んでいます。授業で子どもたちが意見交換をする場面では、タブレットに各自が意見をまとめ、「コミュニケーションツールで自分の意見と友達の意見を比べ、相違点や相似点を見つけ、自分の考えを改めてまとめる思考の訓練に役立っています。小学校では、カメラ機能を使い、生き物の観察記録も行っています。また、社会科では、まとめとして書いたメモの記録を取るなど、活用の幅を広げている子どもたちが多くいます。中学校では、学習成果の発表を想定し、生徒自身が客観的に発表している姿を見直すための動画撮影も行っています。自分なりに分析し、さらに工夫をして発表ができるよう準備をすることができました。さらには、「コロナ禍であることを踏まえ、学校全体の取組として、オンラインで全校朝会を行っています。ICTの活用は、これからの子どもたちにとって不可欠なものです。あきる野市教育委員会では、進んで問題を解決する子どもたちを育て、児童・生徒の学びの深まりにつなげていきます。今後は、情報モラル教育の必要性が更に増すと思われるため、学校と家庭の連携の下、各家庭でSNS家庭ルールを作成していただき、子どもたちが安全・安心してICT機器やSNSを活用できるように一緒に考えていきたいと思います。」